

3年で30施設受講

道臨工 AED点検講習

道臨床工学技士会（会長・室橋高男札幌大病院主任技師）が、二十三年一月スタートしたAED点検講習の実施回数

が三年近くで三十施設に

達した。AEDを設置者が適切に点検管理するよう啓発する公益事業としてさらなる普及を目指し

ていく。

同事業では自治体や銀行、ホテル、医療機関などAEDを設置している施設から依頼を受け、AEDに詳しい同会会員を無償で派遣し、①保管状況の確認②正常・異常状態の見分け方③消耗品交換の必要性④日常点検の記録方法—などの解説を行う。

同会が、受講した二十施設に行った事後アンケート（回答：十四施設）によると、日常点検の頻度が講習前より増加したのは九施設。全施設でインジケータの確認、ラベルの設置、交換期限の確認を手エックするようにするなど、効果を上げている現状が示された。

道保健福祉部医療政策

所要時間は三十一—六十十分で、講習先の施設に置いてあるAEDと同じ機種種のトレーニングキットを使用するため、実践的に学べるのが特色だ。現在十五人の講師が道内をカバーしており、これまで札幌、旭川、函館、苫小牧、室蘭、網走、千歳で実績を重ね、講習修了施設に修了書と修了済みシールを発行している。

局医療薬務課は、AEDの適切な管理実施を促す通知を、関係団体へ十月に送付。管理不備によって本来の性能を發揮できないケースを防ぐため、参考として同事業を紹介している。

会員が施設に訪れ、無償で指導



問い合わせは同会公益事業推進委員会事務局（KRR札幌医療センター斗南病院臨床工学部）011（231）2121内線760。